

■朝吹英二 鐘淵紡績の生みの親で三井のリーダー。福沢諭吉・大隈重信両者に愛され、三菱にも勤めた希代の大物。

あさぶきえいじ

北斎没・・・1849＝ 豊前国下毛郡宮園村で、代々庄屋を勤めていた朝吹泰造の次男に生まれる。母は幾能。

ペリー来航・1853＝ 4歳：

安政大地震・1855＝ 6歳：近郷中摩村の村上姑南の許に通学する。

蕃書調所・・・1857＝ 8歳：天然痘にかかり、回復するもあばた面になるが、天真爛漫な性格と才能が相まって、かえって人々を魅了するようになる。

五ヶ国条約・1858＝ 9歳：

安政の大獄・1859＝10歳：同村の朝吹彦兵衛の養子になり、鐵之助と改名。

桜田門外変・1860＝11歳：

養家は事業の失敗で傾き、借金や金の工面に苦勞するようになって、

薩摩藩士密航1865＝16歳：実家に復帰。米穀の売買や投機を試みる一方、農兵となり、傍ら日田(咸宜園)の林外に学ぶ。

薩長同盟・・・1866＝17歳：英二と改名。中津に遊学し、渡邊塾や白石塾で学び、

大政奉還・・・1867＝18歳：増田宗太郎らの影響を受け尊皇攘夷思想に走るようになる。

明治維新・・・1868＝19歳：この年慶應義塾を開いた福沢諭吉の西洋思想への反感が根強い中津の風潮もあって、

戊辰戦争終・・・1869＝20歳：福沢の従弟で、藩主の娘の結婚の付き添いで大阪に出た漢学者藤本篩山の供の者が病気で帰郷したのを知ると、家出覚悟で頼み込み、堂島の篩山の許で学僕になり、

初の日刊新聞1870＝21歳：藤本家を訪ねきた福沢諭吉と初めて対面、その西洋カブレぶりを見て、暗殺を企て、テロを恐れる福沢のお供になって機会を伺うが、刀を抜こうとした瞬間にした寄席の太鼓の轟音に思い止まり、一転して師と仰ぐようになる。福沢に従って上京し、東京芝の福沢邸の玄關番となり、慶応義塾に入って英語を勉強、

学問のすすめ1872＝23歳：慶應義塾出版主任となとなり、「学問ノススメ」「文明論之概略」などの大ベストセラーの出版に従事。

明治6年政変 1873＝24歳：

初の民間工場1875＝26歳：福沢諭吉の著書の偽版が続出し、防止に奔走。一時帰省。福沢の姪にあたる中上川彦次郎の妹澄と結婚。

三つの内乱・1876＝27歳：

西南戦争・・・1877＝28歳：長男常吉が誕生。

大久保暗殺・1878＝29歳：塾の先輩の庄田平五郎の紹介で\*{三菱商会}に入社すると、商才を発揮して直ぐに本店支配人に昇格、米穀取引所争奪戦にも成功する間、その人間的魅力から、ライバル(三井)側の大隈重信や三井の益田孝らと太いパイプを持つようになる。

琉球処分・・・1879＝30歳：実父危篤の報に一時帰省、実父が死去。交詞社評議員となる。

・・・1880＝31歳：横浜外国商館に対抗すべく、岩崎弥太郎・福沢・大隈の肝入りで創設された、わが国初の直輸出機関(貿易商会)の取締役支配人に迎えられる。生糸や雑貨の輸出に努力して、好調だったが、

明治14年政変1881＝32歳：政変で、大隈内閣が倒れるや、一転して為替や輸出業務を禁止され、膨大な負債をかかえて行詰る。ほかの重役が逃げ出すなか、一人で責任を負い、借金取りに囲まれる状態となるも、

新体詩抄・・・1882＝33歳：大隈が作った(立憲改進黨)の台所を支え、犬養毅、尾崎行雄らの政拾資金を工面して行く。

岩倉具視没・1883＝34歳：長女福子が誕生。

秩父事件・・・1884＝35歳：(両潤社)を起こし、炭鉱経営に着手。

内閣発足・・・1885＝36歳：

帝国大学始・1886＝37歳：ようやく残務整理が終り、(貿易商会)は閉鎖。以後も、誠実にこの負債を返していくことで信頼を勝ち取る一方、政界裏面に活躍するうち、

国民之友始・1887＝38歳：大隈重信に従って伊香保へ行く。

初の対等条約1888＝39歳：大隈と熱海・箱根に行く。帰省。

帝国憲法発布1889＝40歳：加藤高明・藤田茂吉らと伊勢参宮し、京浜旅行。(十八日会)を組織して大隈重信遭難を記念。

帝国議会始・1890＝41歳：帰省。井上馨の推薦で義兄中上川彦次郎が(三井銀行)の再建に乗り込むと、(三菱)で同僚だった初代日銀総裁川田小一郎が孤軍奮闘する朝吹を助けるよう要請、

大本教・・・1892＝43歳：母が死去。ライバル社ながら信望あったことから、役員会で益田孝らの賛成を得て、\*経営難に陥っていた(鐘淵紡績)の専務に推薦されると、作業能率を上げ、工場設備を改善し、見事に経営を建て直し、

郡司千島探検1893＝44歳：兵庫に新工場の建設を計画、中上川に頼み込んで、武藤山治を引っ張りこみ、鐘紡発展の基礎を築く。

日清戦争始・1894＝45歳：\*三井工業部設置とともにその専務理事に就任して、早くも名実ともに(三井)の最高幹部の一人となる。

白馬会・・・1896＝47歳：長男が英国に留学。(鐘淵紡績)と中央綿糸紡績業同盟会の間で争議起きるも、武藤とともに一歩も引かずに勝利、財界での地位を不動のものにする。

八幡製鉄始・1897＝48歳：岩崎弥之助の仲裁により、職工争議収まる。

子規句歌革新1898＝49歳：長男が帰国。工業部が廃止になるとともに、三井呉服店専務理事に就任。

ピノ/国産化・1900＝51歳：王子製紙会社取締役就任。

教科書疑獄・1902＝53歳：王子製紙会社専務取締役。{(三井)の管理部理事となって、三井全体の事業を監督する立場になった。工業化推進する中上川と商業主義唱える物産の益田孝が激しく対立していたが、クッション役となって収拾。

日比谷公園・1903＝54歳：品川毛織会社取締役就任。

日露戦争始・1904＝55歳：長女が結婚。芝浦製作所監査役就任。帝国軍人後援会設立され理事。三井呉服店取締役就任。

日露戦争終・1905＝56歳：三井同族会管理部理事に就任。

満鉄発足・・・1906＝57歳：長男が結婚。

韓国反日暴動1907＝58歳：鐘ヶ淵紡績会社取締役辞任。東京商業会議所特別議員に当選。石田光成の墳墓を発掘し、遺骨を改葬。勲四等瑞宝章。

アヲキ創刊・1908＝59歳：鐘ヶ淵紡績会社相談役就任。王子製紙会社取締役就任。堺セルロイド取締役就任。

伊藤博文暗殺1909＝60歳：泉橋病院を設立し、理事兼評議員となる。東京商業会議所特別議員重任。鐘ヶ淵紡績会社相談役辞任。三井合名会社参事就任。三井銀行監査役就任。三井物産会社取締役就任。東神倉庫会社取締役就任。

大逆事件判決1911＝62歳：恩賜財団(済世会)創立し、理事兼評議員就任。\*{(三井)における一切の職を辞し、財界活動のすべてから離れて、宿願の引退を果たし、一介の風流人となって茶の湯、骨董を楽しむ隠遁生活に入った。

明治天皇没・1912＝63歳：

21ヶ条要求・1915＝66歳：高輪に新邸の建築を着手する。

ロシア革命・1917＝68歳：実弟野依範治が死去。古釘を踏んでケガをしたことで引きこもりがちになる。

本格政党内閣1918＝69歳：腸間膜動脈破裂症の疑いで、\_没した。